

頌栄女子学院

2012年度版

市販の学校案内は、良いことと大まかなことしか書かれていません。進学教室アシストでは、「生」の情報を大切にしていきたいと考えています。

客観的視点も大切ですが、主観的視点も一意見として取り入れるべきです。

今春、頌栄女子学院を卒業したかつての教え子に協力してもらいました。学校選択そして入学後の目安としてご活用いただければと存じます。

1 生活

① 制服

中学生：ブラウスは丸えりで、半袖と長袖の2種類です。夏服は水色地のチェックのプリーツスカートに白ソックス、冬服は紺色のブレザー、赤いタータンチェックの巻スカートにモスグリーンのハイソックスです。そのほかに真夏に着用できる盛夏服というものがあります。

高校生：ブラウスは角えりで、半袖と長袖の2種類です。夏服は水色の格子柄のスカートに白ソックス、冬服は紺色のブレザー、青いタータンチェックの巻スカートにモスグリーンのハイソックスです。中学と同じ柄の盛夏服もありますが、着ている生徒はほとんどいません。

中学、高校共通で紺色のセーターとベストがあります。靴は黒のローファーです。校則ではスカート丈は膝上3センチとなっているようですが、中学2年生から短くする人が多いです。

② 鞆

鞆は本皮もしくは合皮の指定の鞆です。サブバッグも指定で大小2種類あります。紙袋やビニール袋もすべて指定のものに限定されています。

③ 髪型

髪の毛が肩につくと、黒の髪ゴムで結わかなければいけません。リボン、カチューシャ、シュシュなどは黒であれば使っても大丈夫です。

④ 違反物

携帯電話は原則として持ってきてはいけませんが、年度初めに毎年届出ると持つことができます。ただし朝先生に提出し、終礼で返されます。授業中に携帯電話が鳴ると、先生によっては没収されます。iPod やゲーム機等勉強に支障があると思われるものは基本的に禁止です（私もよく把握していません）。漫画や CD も禁止ですが、袋に入れて貸し借りをすることは許されています。違反物が先生に見つかり没収されると、保護者が学校に取りに行かなければいけないので、非常に面倒です。ただ、先生に見つからなければ大丈夫ということで、高校生にもなれば携帯電話を持つてくる人がほとんどです。

⑤ 礼拝

毎朝、各教室で礼拝をおこないます。黙とうから始まり、讃美歌を歌い、主の祈りと聖句を暗唱し、聖書を読み、祈りを捧げます。週に一度、中学生は水曜日、高校生は火曜日にグローリアホールで合同礼拝をおこないます。そのほか、始業礼拝、イースター礼拝、花の日礼拝、創立記念礼拝、クリスマス礼拝、就業礼拝がグローリアホールで行われます。毎朝の礼拝は順番に生徒が司式を務め、その日の聖書箇所についての感話を書いて読みます。何回かに一度は感話を書いてくるのを忘れる人がいて、その人はその日の終礼で読むか、次の日に読むかしなければいけません。

2 校舎、教室

表は赤いレンガ造りの校舎ですが、正門を入るとすぐに中庭が広がっており、そこにはたくさんの種類の草花と、蔦におおわれた校舎があります。蔦は春から夏にかけて生い茂り、冬には散ってしまいます。中庭を抜けると中学生の校舎があり、そこを通り過ぎ、外にでると向かいにグローリアホールがあります。ここでは毎週の合同礼拝や創立記念礼拝、クリスマス礼拝などの規模の大きい礼拝や、新入生歓迎会などの舞台発表が行われます。グローリアホールに沿って歩くと木々の生い茂る下り坂に入り、坂の途中の石階段を下りるとホワイトハウスがあります。ホワイトハウスは、5階建ての白い校舎で、中1の教室と特別教室があります。4階は図書館になっていて、5階は史料館です。中1の教室は、机が放射状に並べてあり、ほかでは見られない独特の作りです。中2以降はふつうの教室で普通に並べられた机です。坂道を降り切ると、下校庭があります。校庭は土のグラウンドで、放課後になるとさまざまな部活が練習をしています。校庭のすぐ横には第一体育館と第二体育館があります。

現在、耐震工事中のため、工事終了後にどのような校舎になるかはよくわかりません。現在本館4階にある小さな食堂はカフェテリアのようになるそうです。蔦は徐々にはがされ、外壁の工事がされているそうですが、工事終了後にはもう一度植えるそうです。学校のホームページには全室冷暖房完備と書いてありましたが、中学の教室は去年やっと埋め込み式の新しいエアコンが導入されたばかりです。高校はとても古い冷房とガスストーブしかないので、よく故障していました。耐震工事と一緒に高校の冷暖房も整備されることを期待します。

3 学校行事

4月

入学式：高校生と中学生が一緒に行います。グローリアホールの後ろの席に保護者が座り、真ん中のほうに高1、前の席に中1が座ります。中1がメインの入学式です。高校生はただ学年が一つ上がるだけなので、形だけの入学式です。

5月

旅行：中1は長野にある頌栄の学荘と山荘にクラス単位で2泊3日のキャンプに行きます。ここでクラスメイトと仲良くなります。中2は毎年福島県の会津に行っていたのですが、原発事故があったことから去年は京都奈良に変更になりました。今年からどうなるのかはわかりません。中3は広島山口に2泊3日で修学旅行に行きます。高1は静岡の天城山荘でディスカッションをしたり聖書を読んだりを2泊3日で行います。高2は北海道に1週間ほど修学旅行に行きます。青森で1泊し、函館から屈斜路湖まで旅をします。

6月

合唱コンクール：中1にとって初めてクラスのみで行う行事です。どのクラスもかなり練習します。コンクールは中学と高校で分けて行います。毎年審査員に偉い方を呼んでいるそうです。

9月

CLD：正式には Co-Learners-Day といいます。いわば文化祭です。研究発表会という形でクラスごとにテーマを決めて調べたことを展示しています。そのほかにクラス劇、クラブの試合などが行われます。ダンス部やチアリーディング部、演劇部などは舞台上で発表しています。

10月

バザー：保護者の方が中心となって行います。毎年受験生から近所に住む方までたくさんのひとが訪れているそうです。頌栄ベアという、頌栄の制服をきたぬいぐるみや、生徒が家庭から持ち寄った商品が販売されます。

SFD：正式には Shoel-Field-Day といいます。体育祭です。頌栄は校庭が小さいので、毎年体育館を借りて行います。

11月

ハイキング：全校生徒でハイキングに行きます。行く場所は学年ごとに異なりますが、中1では昭和記念公園に行きます。

12月

創立記念礼拝：頌栄では創立記念日は登校日となっていて、礼拝をおこないません。

2012年に創立128周年を迎えます。125周年の年には全校生徒と院長先生をふくむ先生方とで新高輪プリンスホテルで立食パーティーが行われました。

クリスマス礼拝：毎年12月の学期終わりにクリスマス礼拝が行われます。この礼拝で学期が終了します。

3月

送別会：高3の卒業の少し前に行われます。この日は全校生徒がグローリアホールに集まり、演劇部やダンス部、チア部など、さまざまなクラブの舞台発表を見ます。

このほかに、冬休み、春休みにはスキーキャンプ、夏休みにワークキャンプなど希望者のみを対象にした旅行などもあります。中3ではカナダで、高1ではニュージーランドで語学研修もあります。

4 クラブ活動

頌栄には文化系クラブが20、運動系クラブが13あります。文化系クラブには聖歌隊やハンドベルクワイアなどの特別クラブも含んでいます。聖歌隊は毎年NHK合唱コンクールに出場しています。ESSはコンクールやスピーチコンテストに出場し、優秀な成績を収めているそうです。運動系クラブで有名なのは弓道部です。弓道部は数多くの実績を残していて、東京都アスリート推進校として表彰されました。

5 勉強

英語学習

頌栄は、学年の三分の一が帰国生ということもあり、英語教育にとっても力が入っています。全5クラス中、3クラスが帰国生と一般生の混合クラスで、残り2クラスが一般生みのクラスです。私は中1で混合クラスになり、初めてクラスに入った時に英語で話す声が飛び込んできてとても驚きました。

英語の授業は高1まで帰国生と一般生は別々で行います。週6時間の授業のうち、一般生は2時間がネイティブの先生、4時間が日本人の先生の授業です。高2以降は、習熟度別にクラスが分けられ、自分の学力にあったクラスで勉強します。2012年度から、すべての英語の授業を英語のみで行うようになったようです。(卒業してしまったので詳しくはわかりません)。私の個人的な印象ですが、英語の授業の進みは早いですが、とても質が良く、予備校などの授業よりもよっぽどためになると思います。

その他教科

国語の授業は中1のみ帰国生と一般生別々で行います。中1の最後から古文の勉強が始まるのですが、これはほかの学校と比べて早かったように感じます。

数学は中3から習熟度別にクラス分けされています。数学は人によって理解度がかなり変わってくるので、早い段階からのクラス分けはとても良いと思います。

頌栄では音楽に力を入れていて、高3まで6年間ずっと音楽の授業があります。そのほかにも創立記念日には毎年コンサートが行われ、音楽に触れあう機会はとても多いです。

考査

頌栄は5月、7月、10月、12月、3月に考査があります。すべての考査で副教科のテストが含まれます（保健、体育、音楽、家庭科、聖書から1つか2つ）。学年が上がるにつれて教科数は増え、高1では12科目もあります。高1では日本史と世界史、物理と化学と生物が同時進行で進むので、考査は本当に大変です。中学生では科目別に補習や追試があります。

その他特徴

頌栄では高2から文理別のクラス編成になります。基本文系選択者が多いですが、最近では理系選択者が増えています。文系は日本史選択と世界史選択に分かれ、理系は物理選択と生物選択に分かれます。文系はほとんどが私立大志望ですが、理系は国立志望や医学部志望も多いです。高校生になると、多くの生徒が予備校や塾に通いはじめます。学校のみで大学受験に挑む生徒はほとんどいません。

6 最後に

私は小学校3年生から中学受験塾に通い始め、4年生から母に連れられて中学校めぐりを始めました。御三家をはじめ、吉祥、鷗友など、たくさんの学校の説明会や文化祭に足を運びました。母だけで参加することもありましたが、基本は私もいっしょに参加しました。そのなかで見つけたのが頌栄です。特別な理由があったわけではないですが、頌栄の校風や雰囲気が好きだったのだと思います。中学受験でなによりも大切なのは学校選びだと思います。学校めぐりをすることで、校風や生徒の雰囲気などを実際に感じるができます。そこで自分が本当に行きたい学校を見つける。そうすることで、モチベーションも上がると思います。ですので、なるべく多くの学校を見て回ってください。個人的におすすめるのは、四谷大塚の合不合や日能研の公開模試などを中学校で受けることです。校舎を見るだけでも参考になるものです。